



平成 26 年 4 月 10 日

茨城県内の景況天気図は引続き「薄曇り」、先行きは「曇り」の見通し

株式会社 筑波銀行(頭取:藤川 雅海、本店:茨城県土浦市)のシンクタンクである筑波総研 株式会社(社長:小倉 利男)は、茨城県内企業経営動向調査(調査基準月:平成 26 年 3 月)を実施しましたので、その結果を公表いたします。今回調査のポイントは以下のとおりです。

1. 景況天気図は前回同様「薄曇り」、平均値は 2 ポイント改善

	前回調査実績 2013/10~12	今回調査実績 2014/1~3	前回との比較	見通し 2014/4~6	見通し 2014/7~9
全 産 業	△1	1	2	△13	△8
製 造 業	1	7	6	△11	△7
非 製 造 業	△1	△1	0	△14	△9

※景況天気図

売上・生産DI(「増加」-「減少」)、経常利益DI(「増加」-「減少」)、資金繰りDI(「好転」-「悪化」)の平均値で表した茨城県内企業の景況感

天気図の説明	快 晴	晴 れ	薄曇り	曇 り	雨
景況天気図平均値	100 ~ 30	29 ~ 10	9 ~ △5	△6 ~ △30	△31~△100

景況天気図は、前回同様「薄曇り」となった。もともと、平均値は、全産業で1と、前回に比べ2ポイント改善している。

改善の背景をみると、売上・生産DIが9.8と同4.7ポイント改善し「増加」超幅が拡大したこと、経常利益DIが△1.5と同2.2ポイント改善し「減少」超幅が縮小したことが寄与している。もともと、資金繰りDIは△5.0と同1.8ポイント悪化し、「悪化」超幅が拡大した。

また、業種別にみると、製造業は7と同6ポイント改善し、非製造業は△1と同横ばいで、製造業、非製造業とも前回同様「薄曇り」である。

先行きの景況天気図は、全産業で平均値が4~6月は△13、7~9月は△8と、「曇り」に悪化する見通しである。

2. 自社業況判断DIは2.4ポイント改善し、2期連続で「好転」超

	前回調査実績 2013/10~12	今回調査実績 2014/1~3	前回との比較	見通し 2014/4~6	見通し 2014/7~9
全 産 業	3.5	5.9	2.4	△15.8	△6.7
製 造 業	3.3	8.6	5.3	△12.9	△3.6
非 製 造 業	3.6	4.8	1.2	△17.1	△8.0

自社業況判断DI(「好転」-「悪化」)は、全産業で5.9と前回調査実績に比べ2.4ポイント改善し「好転」超幅が拡大した。製造業は8.6と同5.3ポイント、非製造業は4.8と同1.2ポイント改善し、「好転」超幅が拡大した。

3. 設備投資を実施した企業の割合は、前回調査比 2.1 ポイント増加

	前回調査実績 2013/10～12	今回調査実績 2014/1～3	計画 2014/4～6	計画 2014/7～9
全 産 業	23.9	26.0	21.9	20.0
製 造 業	31.6	31.0	33.8	26.9
非 製 造 業	20.8	23.9	16.8	17.1

設備投資を実施した企業の割合は、全産業で、26.0%と前回調査実績に比べ 2.1 ポイント増加した。製造業は、31.0%と同 0.6 ポイント減少し、非製造業は、23.9%と同 3.1 ポイント増加した。

先行き、設備投資実施予定企業の割合は、全産業で 4～6 月 21.9%、7～9 月 20.0%と減少する見通しにある。

4. 調査の概要

(1) DI値の算出方法

前年同期に比較して「好転」・「増加」・「上昇」した(もしくは、する見通し)と回答した企業の割合から、「悪化」・「減少」・「低下」した(もしくは、する見通し)と回答した企業の割合を差し引いて算出する。

(2) 調査実施時点 : 2014 年 3 月

(3) 調査対象期間 : 2014 年 1～3 月実績
2014 年 4～6 月・2014 年 7～9 月見通し

(4) 調査の方法 : 郵送による記名式アンケート

(5) 調査対象 : 弊行取引先茨城県内企業 997 先

(6) 回答企業数 : 513 先

以 上

本件に係る報道機関のお問合せ先

筑波銀行 総合企画部 広報室 岡野 TEL029-859-8111 (内線 3730)

筑波総研(株) 企画調査部 和田 TEL029-829-7560 (内線 2384)